

国語科 小学校6年

単元名 共に考えるために伝えよう
「みんなで生きる町」

本時の流れ（第11時）

本時の目標

○提案文を発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合う。

本時のめあてを把握する。

- ・前時に作成した提案文について、どのようなことを工夫したか、話し合う。
- ・グループで交流して、「表現の工夫」を中心に助言し合うことを確かめる。

詳しい指導案はこちら

CLICK

【本時のめあて】

- ・多くの人に自分の提案内容が伝わるよう工夫しよう。

提案文の交流においては、推敲の観点（表記面、内容面）を示し、具体的に話し合わせる。

提案文を交流し互いに助言し合う。（グループ）

- ・友達の提案を聞いたり読んだりして、よい点や改善点を話し合う。
- ・どのような表現の仕方が望ましいか、グループの話し合いの要点をまとめる。

【身に付けさせたい「書く力」】

- ・自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考える。
- ・事実と感想、意見などを区別して書く。
- ・表現の効果などについて確かめたり工夫したりする。
- ・表現の仕方に着目して助言し合う。

検討内容を交流し、整理する。（一斉）

- ・各グループで話し合った内容を報告する。
- ・グループ報告をもとに、よりよい提案文にする方法について、整理して確かめる。

検討内容の交流においては、自分たちのグループで話し合ったことの要点をまとめて報告できるように指導する。

グループからの報告を板書で整理して、推敲のポイントを示す。

多様な考えを聞き、必要な意見を自分の提案文に生かすように指導する。

提案文の見直し（個別）

- ・自分の提案文を読み返し、加筆修正箇所を考える。
- ・自分の提案文のどのような点を書き直すのか、推敲のめあてをノートに書く。

「活用の力」を育てる評価の視点

- ・グループの話し合いの際、推敲の観点に即して具体的な意見を述べたり、ノートにメモしたりしている。
〈発言〉〈ノートの記述〉

- ・本時の学習を振り返って、次の時間のめあてを考え、ノートに書く。

単元の流れへ

HOME

評価問題